

治験支援業務に対する臨床検査技師の関わり

◎鈴木 直子¹⁾

掛川市袋井市病院企業団立中東遠総合医療センター¹⁾

【はじめに】

当院の治験業務に従事するCRCは現状3名であるが、1名は薬剤部と兼務で治験に関わっており、当院の治験症例の推進に対応するには人員不測の傾向にあった。そこで、4月より兼務ではあるが臨床検査技師1名が治験業務に関わることで、治験業務内の業務分担を行い治験業務遂行の効率化を図ることができたので報告する。

【業務内容】

院内にて開催される治験審査委員会に出席、治験依頼者に対するヒアリングを行い、治験に必要な検査項目に対する検査室窓口として関連部署との連携を行う。治験に必要な検査機器を含む医療機器の精度管理、保守管理、検査データの抽出・報告、検体の保管発送業務に対応することとした。

【結果】

治験に必要な検体、検査データの窓口として担当を配置することにより、CRCからの依頼に迅速に対応できるようになった。検査室内の関連部署にリアルタイムな連携が可

能となり、採血量不足や検体処理ミスを未然に防ぐことができるようになった。CRCは検査領域の業務を検査技師に一任することにより、その他の治験業務に専念できるようになったためCRCの業務効率向上にも寄与することができた。

【結語】今後はより治験業務にかかわりを深め、また複数人で対応することにより臨床検査室内の治験に対する理解、協力体制を構築し治験業務に貢献できるようにしていきたい。

連絡先：

掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センター
臨床検査室 TEL：0537-21-5555（内線 2217）